

密着!! 春日部市消防本部

守りの最前線は、 わたしたちの 暮らしの中に

冬は空気が乾燥し、火災が起
こりやすい季節。市では前年よ
り火災発生件数が増加してい
ます。いざというときに素早く
現場に駆けつける、消防本部の
活動に密着しました。

問 消防本部総務課
(TEL 048-738-3111)

春日部市の
火災発生件数は
82件 (令和7年中)
約4日に1件の割合で
火災が発生しています。

MISSION 1 火災に備えた訓練を目撃せよ

いざというときのために
日々の鍛錬が欠かせない

消防士は、火を消す消防隊、人を助け出す
救助隊、救命処置をする救急隊に分かれてい
て、連携しながら活動にあたっています。出動
がない場合でも、車両や資機材の点検や訓練
を欠かしません。災害はいつ発生するかわ
からないため、有事の際に人や家財を守れるよ
う、平時から備えておくことが大切です。

小笠原さん (予防課所属)

MISSION 2 隊員の思いに迫れ

私たちの本当の願いは、
火災による被害がなくなること

火災だけでなく交通事故や水難事故など
多様な災害に備え、日々訓練を重ねていま
す。現場で大切にしているのは、どんな状況で
も「安全・確実・迅速」に動くこと。救助を待つ
人の不安に寄り添うことも大事にしています。

私が消防士を志したのは、高校生の頃に東
日本大震災を経験し、そして大学時代に火災
現場で消火活動や救助にあたる隊員の姿を
偶然にしたことがきっかけです。「困ってい
る人のもとへ真っ先に駆けつけたい」という
思いで、この道を選びました。

火災現場は教科書通りではありません。訓
練後の検討は、経験豊富な隊員から救助技術
や消火戦術の立て方を学ぶ大事な機会。目標
とする上司の背中を追いかながら、より安全で確
実な救出ができるよう日々励んでいます。

現場の隊員が注目されがちですが、消防は
連携が重要な“ワンチーム”。車両や装備の点
検、火災予防の啓発など多くの努力が積み重
なって被害のない1日につながります。市民の
皆さんもチームの一員。防火意識が火災を
防ぐ重要な力です!

MISSION 3 自分の行動で火災を防げ

家の中の火災につながりやすい
場所を点検してみよう

ストーブの周りに置いた
洗濯物やカーテン

たこ足配線の
コンセント

寝たばこ

住宅用火災警報器を
設置していない

火をつけたままの
コンロ

窓の近くに置いた水槽

家の周りに置いた
燃えやすいもの

心当たりは
ありませんか?

1つでも当てはまった人は要注意!
今すぐできることから始めよう!

火災のリスクは身近な場所に潜んでいます。どこに危険があるのか、家の中を見渡してみ
ましょう。見逃していたポイントはありませんか。知識を身に付けて「知らなかった」から「備えて
安心」へ意識を高めることが大事です。

☑ 寝たばこは絶対にしない・させない
☑ モバイルバッテリーは適正に利用する
☑ コンロから離れるときは火を消す
☑ コンセントはほこりを掃除し、
不必要的プラグを抜く
☑ 火の近くに燃えやすいものを置かない
☑ 住宅用火災警報器を設置・点検する

『防火かすかべ』を配布しています

火災予防に必要な情報、知識をまとめた
ポケットサイズのリーフレットを消防本部で
配布しています。日頃から火災予防の知識
を身に付け、いざというときに備えましょう。
QRコードで公開中

春季全国火災予防運動

3/1(日)~7(土)の期間中、消防車両で市内を巡回しながら
火災予防を呼びかけています。アナウンスが聞こえたら、自
宅の中を見渡して出火の恐れのある箇所を点検してみてく
ださい。

詳しくは4面へ